

団体名：日本船舶海洋工学会

成果物概要

事業内容

我が国造船・海洋分野の学術・技術分野をリードし将来を担う若手研究者・技術者を育成と国際学術交流を促進するため、若手研究者に、海外の研究機関で実施されている研究調査や国際集会等で発表する機会を提供することを目的に、下記の課題を持って若手研究者・技術者の派遣に取り組んだ。

- (1) 船舶・海洋に係わる海外の先端的研究分野の調査研究
- (2) 海外の萌芽的研究分野の研究内容の調査
- (3) 海外の研究集会への参加と専門論文等の発表
- (4) 船舶・海洋分野における新しい国際基準の動向調査

また、学術・技術の情報収集と海外研究者との人的交流により、国際的視野を持つ研究者・技術者同志の「交流ネットワークの構築」を目指して、これまでの派遣実績をインターネットに公開した。

実施組織

当会の国際企画委員会・国際学術協力部会において派遣者の募集、選考、派遣報告の評価等を実施し、2010年11月に派遣報告会を実施した。

日本船舶海洋工学会
国際企画委員会・国際学術協力部会委員

氏名	所属
部会長 重見 利幸	(財)日本海事協会 開発部 部長
幹事 松本 俊之	(財)日本海事協会 技術研究所 所長
委員 川村 恭己	横浜国立大学大学院工学研究院 海洋空間のシステムデザイン教室 教授
委員 竹田 太樹	三菱重工業株神戸造船所潜水艦部 部長
委員 片山 徹	大阪府立大学大学院工学研究科航空宇宙海洋専攻 海洋システム工学分野 准教授
委員 後藤 浩二	九州大学大学院工学研究院海洋システム工学部門 准教授
委員 野瀬 幹夫	長崎総合科学大学工学部船舶工学科 教授
事務局 小林顕太郎	(社) 日本船舶海洋工学会 事務局長

派遣者と調査概要

氏名：越智文俊

所属：IHI

派遣期間：2009年6月21日～26日

派遣先：ノルウェイ

Norwegian University of Science and Technology

テーマ：最新の推進器に関わる研究開発動向の調査

- ・ The First International symposium on Marine Propulsors 出席
- ・ P O D型推進器に関する最新動向調査

氏名：Sahbi Khanfir

所属：大阪大学

派遣期間：2009年8月8日～22日

派遣先：米国

U.S Merchant Marine Academy

U.S.A, University of Iowa

MARSIM'09

Technological University of Panama

テーマ：Twin-propeller twin-rudder ship maneuvering characteristics

- ・ MARSIM 09 参加

氏名：高田 龍祐

所属：三菱重工業(株)

派遣期間：2010年5月2日～16日

派遣先：米国

Offshore Technology Conference

ABS 船級協会

テーマ：浮体式海洋構造物に関する技術的動向の調査

- ・ Offshore Technology Conference での FLNG 関連の情報収集
- ・ ABS 船級協会の構造ルール調査
- ・ Risk Based Inspection

氏名：堤 成一郎

所属：九州大学

派遣期間：2010年6月5日～23日

派遣先：チェコ・オーストリア・ハンガリー：

Academy of Science of the Czech Republic

Technical University of Vienna

Budapest University of Technology and Economics

テーマ：第10回 Int. Fatigue Cong.への参加およびヨーロッパにおける疲労研究の最新動向の調査・研究

- ・ 第10回疲労国際会議への参加
- ・ Technical University of Vienna における研究調査

・ Budapest University of Technology and Economics における研究調査

氏名：田中 智行

所属：広島大学

派遣期間：2010年8月22日～9月4日

派遣先：ノルウェー

Norwegian University of Science and Technology

テーマ：船体構造の構造解析法および構造評価法に関する情報収集および動向調査

氏名：五百木 陵行

所属：三井造船昭島研究所

派遣期間：2010年8月24日～9月3日

派遣先：ノールウェイ・デンマーク・オランダ

NTNU (Marine Technology Centre)

Ship Maneuvering Simulator Centre

MARINTEK、Force Technology

MARIN (MARIN's Nautical Centre MSCN)

テーマ：操船シミュレータの技術動向および訓練法の調査

- ・ 欧州における操船シミュレータの全般
- ・ 運動計算のための数学モデル
- ・ ハードウェア全般

氏名：笈田 佳彰

所属：東京大学

派遣期間：2010年9月5日～17日

派遣先：ポーランド・スイス・ドイツ

Leica Geosystems

Meyer Werft

Hamburgisch Schiffbau-Versuchsanstalt

Hamburg University of Technology

テーマ：造船所の工作品質に関する最先端研究の調査

- ・ 国際学会 CE2010 の参加及び発表
- ・ 造船所における非接触計測機導入に関する調査
- ・ 最先端技術を導入した造船所の調査
- ・ 今後の研究の方向性と現状のシステムの問題点の確認

氏名：西 佳樹

所属：横浜国立大学

派遣期間：2010年9月13日～27日

派遣先：ブラジル

サンパウロ大学

カンピーナス大学

リオデジャネイロ大学

ペトロブラス R&D センター

テーマ：ブラジルにおける深海開発の動向調査および PRADS2010 での研究発表

- ・サンパウロ大学における研究動向
- ・カンピーナス大学における研究動向
- ・PRADS2010 における研究発表およびリオ大訪問
- ・ペトロプラス R&D センターにおける研究開発動向

氏名：黒田 麻利子

所属：海上技術安全研究所

派遣期間：2010 年 9 月 18 日～10 月 1 日

派遣先：ブラジル・アメリカ・カナダ

Naval Surface Warfare Center

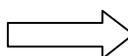
National Research Council

テーマ：船舶についての POD 推進器および実海域性能についての海外における現状調査

- ・船舶の実海域性能についての海外における現状調査
- ・米国における高速船用推進器技術の調査
- ・カナダにおける POD 推進器技術の実態調査

「国際学术交流ネットワーク」の公開

若手研究者・技術者海外派遣事業は、将来を担うべき若手の育成と、国際交流を促進するため、日本財団の助成を受けて、海外研究機関への派遣や国際会議等での発表を支援してきました。その研究交流内容は会誌や報告会を通して発表されてきましたが、これらの派遣調査による海外情報をデータベース化し、「国際学术交流ネットワーク」として学会ホームページ上で公開しました。これらの情報が将来の研究や国際交流の促進に活用されることを期待します。



日本船舶海洋工学会
The Japan Society of Naval Architects and Ocean Engineers

ENGLISH

Google

トップページ | サイトマップ | プライバシーポリシー

<トップページ>

学会について

論文集・学会誌

- 論文集
- 学会誌-KANRIN-
- シリーズ・読みもの
- その他の出版物

講演会・会議

- 講演会・シンポジウム
- 会議・イベントカレンダー

研究活動

- 研究会
- 研究委員会

能力開発支援

- 能力開発センター

普及・啓蒙活動

- 普及・啓蒙イベント
- 海洋教育推進活動

国際対応

- 国際学术交流

入会のご案内

- メールニュース
- 表彰
- 団体会員の紹介
- 公募
- リンク集
- アーカイブ
- 運用ルール

学会事務局

〒105-0012
東京都港区芝大門2-12-9
浜松町矢崎ホワイトビル 3階
TEL: 03-3438-2014/2015
FAX: 03-3438-2016
mail@jasnaoe.or.jp

**若手研究者派遣事業に係る
国際学术交流ネットワーク**
～ 調査内容の公開 ～
主催：日本船舶海洋工学会 国際企画委員会・国際学術協力部会

お知らせ

- 2010.10.19 「海洋再生可能エネルギーの利用に関するワークショップ」開催のお知らせ(12月1日開催)を掲載しました。
- 2010.10.19 日本船舶海洋工学会平成23～24年度代議員選挙結果を公示しました(PDF:583KB)
- 2010.10.08 シンポジウム『船型開発の創り手の』ーバルバスバウを中心としてー(11月5日開催) (PDF:129KB)を掲載しました。
- 2010.10.06 若手研究者派遣事業に係る国際学术交流ネットワークを掲載しました。
- 2010.09.30 KFR第310回例会のご案内(10月12日開催)(PDF:298KB)を掲載しました。
- 2010.09.24 日本船舶海洋工学会誌 KANRIN (感臨) 第32号を掲載しました。
- 2010.09.21 第2回「造船資料・用具の調査・保存委員会」展示会のご案内(開催中)

学会誌

論文集

講演会

入会案内

能力開発センター

支部情報

日本船舶海洋工学会
私たちはこんな学会です。

詳細はこちら

海の不思議箱

デジタル造船資料館

シリーズ 造船所のかっこいいオヤジ



トップページ > 国際対応

学会について >

論文集・学会誌 >

- > 論文集
- > 学会誌-KANRIN-
- > シリーズ・読みもの
- > その他の出版物

講演会・会議 >

- > 講演会・シンポジウム
- > 会議・イベントカレンダー

研究活動 >

- > 研究会
- > 研究委員会

能力開発支援 >

- > 能力開発センター

普及・啓蒙活動 >

- > 普及・啓蒙イベント
- > 海洋教育推進活動

国際対応 >

- > 国際学術交流

- ➡ 入会のご案内
- ➡ メールニュース
- ➡ 表彰
- ➡ 団体会員の紹介
- ➡ 公募
- ➡ リンク集
- ➡ アーカイブ
- ➡ 運用ルール

学会事務局 > MAP

〒105-0012
東京都港区芝大門2-12-9
浜松町矢崎ホワイトビル3階
TEL: 03-3438-2014/2015
FAX: 03-3438-2016

✉ mail@jasnaoe.or.jp

国際対応

International Issues



若手研究者派遣事業に係る国際学術交流ネットワーク

日本船舶海洋工学会
国際企画委員会・国際学術協力部会

当会は、かねてより日本財団の助成を受けて若手研究者・技術者を対象とした海外派遣事業を実施してきました。本事業は若手の研究者が取り組んでいる研究課題に関わる調査を目的とし、その調査内容は会誌や報告会を通して発表されてきました。この度、これらの調査内容を「国際学術交流ネットワーク」としてweb上で公開することになりました。これからの若手研究者の研究促進に役立てて頂ければ幸いです。

過去の派遣者一覧

派遣者氏名をクリックすると調査内容を閲覧できます。
※所属は派遣時の所属

| 2008年度 | 2007年度 | 2006年度 | 2005年度 | 2004年度 | 2003年度 |

2008年度

派遣者氏名	主な派遣先	テーマ
浅見 光史 (海技研)	ドイツ Gesellschaft für Nuklear-Service mbH, Germany/GNS Gesellschaft für Nuklear-Service mbH, Essen	船舶による原子炉解体放射性廃棄物輸送 に係る海外動向調査
新井 勲 (大阪府大)	米国、カナダ Codar Ocean Sensors/ Scrips Institution of Oceanography/ Teledyne RD Instruments	海洋計測機器開発分野における先端的研 究分野の現状調査
大橋 訓英 (海技研)	フランス、イタリア Ecole Centrale Nantes/ INSEAN	欧州におけるCFD(数値流体力学)開発動向 調査
坂田 有吾 (大阪大学)	ノルウェー、オランダ、フランス、イタリア、ド イツ MARINTEKI/MARIN/ SIREHANA/INSEAN/ HSVA	欧州の水槽試験における先進的計測技術 に関する動向調査
寺田 昌史 (九州大学)	カナダ 国際会議ISOPE-2008	ISOPE-2008出席と水中ビークル開発に関 する研究動向の調査 Seoul National Universityの学生らとの交流
牧 敏生 (大阪大学)	オーストラリア Australia Maritime College	泉州における高速船研究・建造の動向調 査

交流ネットワーク構築のためのフォローアップ調査結果

▲このページの最上部へ

2007年度

派遣者氏名	主な派遣先	テーマ
北澤 大輔 (東京大学)	米国 NOAA Aquaculture Program Hubbs-Sea World Research Institute OceanSpar LLC	米国における沖合養殖事業の現状調査と OMAE2007出席報告
穂方 和夫 (東京大学)	米国 University of Nevada University of Southern California The University of Washington	船舶設計のための知識伝承支援システ ムの調査
村井 康二 (神戸大学)	カナダ Institute of Electrical and Electronics Engineers/Systems, Man, and Cybernetics Society国際会議(IEEE-SMC)	交通システムに関するヒューマン・マシン 研究動向の調査
岸本 隆 (三井昭島)	フランス Bassin d'essais des Carènes GrenobleUniv.	気泡核計測装置および気泡核制御装置の 調査

成果物種類：報告書

成果物カテゴリ：技術 > 海洋工学・船舶工学・兵器